

農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地（採草放牧地）の(に) 所有権 を 移転 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和5年4月1日

大山崎町農業委員長 様

申請者

譲渡人 **山崎 太郎**

譲受人 **円明寺 一郎**

記

所有権移転時
のみ記載必要

1 申請当事者の氏名（名称）等（国籍等は、所有権を移転する場合に譲受人のみ記載してください。）

当事者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格 又は特別 永住者
譲渡人	山崎 太郎	75	会社員	円明寺字〇〇△△番		
譲受人	円明寺 一郎	50	専業農家	円明寺字〇〇××番	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 ㎡	10アール 当り 普通収 穫高kg	利用 状況	所有者 氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
円明寺小字 ××〇〇番	田	田	450	300	水稻	山崎 太 郎	20年	同左	所有 権	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 高齢化によって耕作が難しくなってきたため、経営規模を縮小する。

譲受人の事由 生産性向上のため、農業経営の拡大を図るため。

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

(1) 移転(設定)の時期 令和5年〇月〇〇日 (または「許可日より1か月以内」等と記入)

(2) 賃貸借期間 令和 年 月 日～

(3) 移転(設定)の対価 総額 **△0,000,000円** (3. 3㎡当たり **×0,000円**)

(賃料(年額) 円)

所有権移転の際は記入不要です。

5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

	譲渡人				譲受人						
	自作地		貸付地		所有者			借入地		経営地	
	① ㎡	② ㎡	② ㎡	①+② ㎡	① ㎡	② ㎡	③ ㎡	現に耕作中の 地 ④ ㎡	その他 ⑤ ㎡		①+④ ㎡
田					1,200						1,200
畑					1,000			300			1,300
樹園地											
計					2,200			300			2,500
採草放牧地											
山林その他											

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員（構成員）がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況（法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況）

	氏名	年齢	別性	権利取得者 との続柄	職業	年間農作業 従事日数	備考	
(世帯員等 構成員)	円明寺 一郎	50	男	本人	専業農家	300		
	円明寺 花子	48	女	妻	専業農家	250		
者 雇 常 用 時								
季節雇・臨時雇		年間延日数					日	

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員の農機具及び家畜の保有状況

種類	農機具						家畜		
	農業用 自動車	耕うん 機	トラク ター	ユンボ	運搬車	コンバ イン			
数量	1	2	1	1	1	1			

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。(例えば、集落営農や担い手への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

(例) 権利移転前の営農を引き継ぐ(周囲と同等の農業を行う)ため周辺農地への支障はない